

4 サッカー競技実施要項

- 1 日 時 令和4年10月2日(日) 10時00分～
- 2 会 場 山形県総合運動公園運動広場・第2運動広場
- 3 主 管 山形県サッカー協会 山形地区サッカー協会
- 4 参加資格
- (1) 選手
令和4年度山形県スポーツ少年団に団員登録し、年間を通して活動している小学生とする。参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
「参加選手」は、原則として公益財団法人日本サッカー協会(以下「JFA」)の発行した加盟チームの選手登録証(各チームで印刷)(写真付)を持参すること。
※選手証とは、JFA WEBシステム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。
- (2) 指導者(監督)
令和4年度山形県スポーツ少年団に指導者登録をしている者で、20歳以上のスポーツ少年団指導者(スポーツ少年団の理念を学んだ者)とする。
引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上がJFA公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。原則としてJFAの発行した公認指導者ライセンス証(各チームで印刷)(写真付)を持参すること。
※公認指導者ライセンス証とは、JFA WEBシステム「KICKOFF」から出力した公認指導者ライセンス証を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。
- (3) チーム編成は単一スポーツ少年団とし、大会実施年度にJFA第4種に加盟登録していること。
- (4) 地区協議会(各教育事務所)ごとに選考されたチームとする。
- (5) U-12(小学6年生以下)の単一チームで構成されていること。
- (6) 参加者はスポーツ安全傷害保険等に加入済みのものとする。
- 5 チーム編成 監督1名、選手20名以内、最少エントリー8名とする。
- 6 試合方法
- (1) 試合時間は、40分間としインターバルは5分とする。
- (2) 20チームを5ブロックに分けて、ブロックごとにトーナメント方式とする。規定の試合時間内に勝敗が決しない場合はPK方式により勝者を決定する。※決勝のみ前・後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝者を決定する。(延長までのインターバルは3分間とする。)PK戦は3人で行い、その後はサドンデスとする。
- (3) ベンチはコートに向かって左がトーナメント表の左とする。ベンチサイドでの応援は禁止とする。
- (4) 暑熱化において、前・後半中程にCooling Break又は飲水タイムを採用する。(会場責任者判断)
- 7 競技規則
- (1) 2021/2022年度JFA「サッカー競技規則」及び「8人制サッカー競技規則」による。
- (2) グラウンドの広さは68×50mとし、ゴールは5×2.15m(少年用)を使用する。
- (3) 試合球(4号検定球)は持ち寄りとする。
- (4) 1チーム8人の競技者によって行われる。(8人に満たない場合は試合を行わず、得点を0-5として敗戦したものとみなす。
チーム競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
- (5) 登録できる交代要員及び交代の最大人数は12名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
- (6) ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることがで

きる。

- (7) 試合中、不慮の事故等で選手が6名以下になった場合は試合中止（棄権）とする。
※棄権とは、チームは負けとし、(0-5)とする。

8 競技者のユニフォーム

- (1) J F Aのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
(2) 本大会出場チームは正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
(3) 選手番号については、参加選手ごとに本大会中、同一のものを使用する。ただし、背番号は1～99番とする。
(4) ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
(5) ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
※フィールドプレーヤーがゴールキーパーをする場合は、ビブス着用でも可とする。ビブス番号は問わない。
(6) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
(7) 前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができる。
(8) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
(9) アンダーシャツ・ショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

9 警告・退場

- (1) 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は試合を停止する。
(2) 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律委員会で決定する。
(3) 本大会の異なる試合において警告を2回受けた競技者は本大会の次の1試合に出場できない。
(4) その他詳細については本大会規律委員会で審議し当該チーム及び選手に通知する。
(5) ベンチ（役員）が、判定に対しての執拗過剰な異議、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行った場合、主審の判断により、警告又は退場とする。

10 審判員

- (1) 参加チームは、自チームの責任で帯同審判を準備すること。帯同審判については、原則としてJ F Aの発行した審判証（各チームで印刷）（写真付）を持参すること。
※審判証とは、J F A WEBシステム「K I C K O F F」から出力した審判証を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、P C等の画面に表示したものを示す。
(2) 4人制審判（主審・副審・第4の審判員）とする。

11 表彰

- (1) ブロックごと優勝チームの選手にメダルを授与する。
(2) ブロックごと第3位まで賞状を授与する。

12 開・閉会式

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しない。

13 参加申込

- (1) 所定の様式により5部（※1部参加者控え）作成し、8月12日（金）まで当該市町村スポーツ少年団に申込みこと。
(2) 作成した参加申込書 Excel データを下記へメール送付すること。
・山形地区4種委員会 ya4shu2018@yahoo.co.jp

14 参加料

参加者一人 400円（監督・選手）

15 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

- (1) 当大会は、「令和4年度第30回山形県民スポーツフェスティバルにおける新型コロナ

ウイルス感染症拡大防止に関するガイドライン」及び各競技団体作成ガイドラインに基づき開催する。

「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」も参考にする。

(<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid1278.html>)

(2) 当大会は「JFAサッカー活動の再開に向けたガイドライン」

(https://www.jfa.jp/about_jfa/guideline.html)、「試合の開催について」及び「新型コロナウイルスの影響下における参加チーム遵守事項」を適用し、開催運営する。

各チームはガイドライン等をチーム関係者に周知し遵守の上、参加すること。

16 負傷者等に対する対応と災害発生に対する措置について

(1) 大会中における怪我等については各チームの責任に帰するものとする。

(2) 各チームにおいて熱中症予防（対策）に努めるものとする。

(3) 災害等が発生した場合は、各会場の災害対応マニュアルに従い避難する。

(サッカー競技規則2021/2022「サッカー活動中の落雷事故の防止対策についての指針」参照)

17 そ の 他

(1) 本大会要項に定めない事項は山形地区4種委員会にて協議のもと決定する。

(2) 雨天時も実施するが、台風・雷等の場合は協議する。

(3) ごみや空き缶等は責任をもって持ち帰ること。

(4) 当日、体調不良の選手の参加は認めない。

(5) 本大会参加中は試合中に限らず、人道的に不可解な言動や暴力、暴言等があった場合は、大会規律委員にて事実を確認し処分の対象とする。

18 種目連絡先

山形地区4種委員会事務局長 早坂 正伸

E-mail : ya4shu2018@yahoo.co.jp

試合の開催について

※基本的にすべての行動での三密は避ける

【会場】

- ▶防球ネット内は、当該試合の監督・コーチ・選手・運営関係者以外立ち入り禁止とする。
- ▶基本的にスタンドの無い会場内（学校等）は、施設の留意事項に従うこととする。
「新しい生活様式」を守りチーム毎まとまっの観戦や発声はしない。
- ▶各チームは事前に、保護者の方々が密の状況を作らず感情的になって大声で叫ばないように行動してもらえるか、協力の徹底をお願いすること。
- ▶駐車場や施設内では少人数で行動し密を避ける。

【試合開始】

- ▶用具チェック 通常通り試合前に行う。
- ▶セレモニーは、相手チーム、審判との握手は実施しない。

【試合中】

- ▶得点時にハイタッチ、抱擁は極力避ける。
- ▶ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する。

【ベンチ内】

- ▶三密を避けた行動を心がける。
- ▶指導者も含めむやみに大声を出さない。
- ▶選手、本部、審判も含め飲料水は、個人で準備し各人の責任において処理をする。

【試合終了後】

- ▶セレモニーは、相手チーム、審判との握手は実施しない。
- ▶ベンチ前（相手・自チーム）での挨拶・握手などは実施しない。
- ▶スタンド・応援席への挨拶も実施しない。速やかにベンチを空け会場から移動する。

新型コロナウイルスの影響下における参加チーム遵守事項

1. チーム代表者は選手及びスタッフが以下の事項に該当する場合、チーム帯同を見合わせること。
 - ・体調が良くない場合。（例：発熱・咳などの症状がある場合）
 - ・同居家族及び身近な人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
2. 移動時の対応
 - ・出発時に選手及びスタッフに検温及び上記を確認し、チェックリストに記入すること。
 - ・可能な限り、小グループでの移動を心掛け、マスク着用、換気等の対策を行うこと。
3. 会場における感染防止対策
 - ・飲水ボトルを共有しない。（各自個人毎の準備）
 - ・ごみは個人で管理し、収集、持ち帰り処分すること。（密閉すること）
 - ・会場内に準備してある消毒液とポンプ型石鹸で手の消毒をこまめに行うこと。
 - ・プレー中以外はマスク着用のこと。（熱中症が懸念される状況下では、距離を保ったうえでマスクを外す）
 - ・飲みきれなかった水やスポーツドリンクは指定場所に捨てること。
4. 事後対応
 - ・大会後にチームから新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者へ報告すること。